

施設感染対策資料

～施設でクラスター対応が始まったら～

【全職員向け】



北海道帯広保健所 クラスター対策チーム
2022.11月

いままでは…

施設内療養者を探知したら



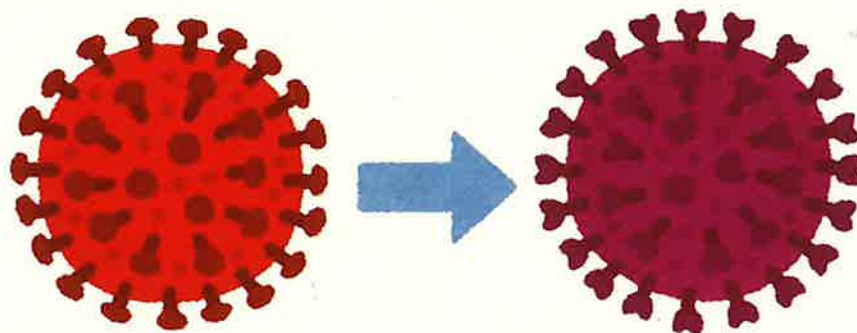
隔離 = 居室内から出さない



オミクロン株による感染

第8波として流行しているオミクロン株の特徴

オミクロン株: 感染性は強いが、重症度は低い



陽性者の長期に影響を及ぼす問題内容に変化

COVID-19感染の
重症化の問題



コロナの症状悪化
より

感染対策の隔離で生じる廃用症候群が深刻

COVID-19感染で
ADL低下や持病が
悪化する問題

これから・・・



食事や排せつは**できるだけ**いつもどおりの場所で
日常の活動を**できるだけ**いつもどおり続けることができるように
(リハビリなども！)

レッドゾーンの考え方も適時検討

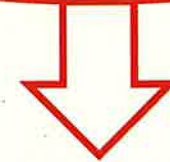
これからは・・・

個室に閉じ込め臥床を続けない！



でも・・・

施設内の感染拡大が不安…?!



適切な防護着脱で職員が感染しない

感染者と非感染者の空間分離

感染者と非感染者の時間分離

消毒

換気

重要!

確実な基本の感染対策

隔離の方法を考え、嚴重な隔離を緩和する

↑ このことは、
感染予防の仕方を緩和する訳ではありません



隔離の仕方やその工夫の検討には
基本の感染対策を理解していることが重要

入居者を支援する職員が「分かりやすく」「動きやすく」「間違いにくい」様にする

COVID-19の感染経路

ウイルスは陽性患者の鼻の中や口の中に存在し、
咳やくしゃみの際に飛沫に含まれる形で体の外に放出される

マイクロ飛沫
(エアロゾル)
感染

換気

空気中に漂う濃度を薄くする
室温変化を抑えるには、

少し開けて常時換気・二段階換気・窓近くに暖房機器

飛沫感染

遮断・距離

飛沫が眼に付着したり、鼻や口から直接吸い込むことを防ぐ
マスク、フェイスシールド、アクリル板、ビニールシート
1~2m以上の距離確保

接触感染

手指衛生・物品や環境表面の消毒

ウイルスは手指についているだけでは感染しないが、その手指を目
鼻口に持つて行くことで感染する

シンクと石鹸が無いところではアルコール消毒を優先

PPE (個人防護具) の目的



サージカルマスク (不織布マスク) : ウイルスが鼻と口に入り込むのを防ぐ



N95マスク : マスクと同様、特にウイルスを浴びる可能性が高い時に使用



キャップ : ウイルスが付着した手袋で髪の毛を触らないため



フェイスシールド・ゴーグル : ウイルスが目に入り込むのを防ぐ



ガウン : ウイルスが衣類に付着するのを最小限にする



グローブ : ウイルスが手に付着するのを防ぐ

ゾーニングの基本

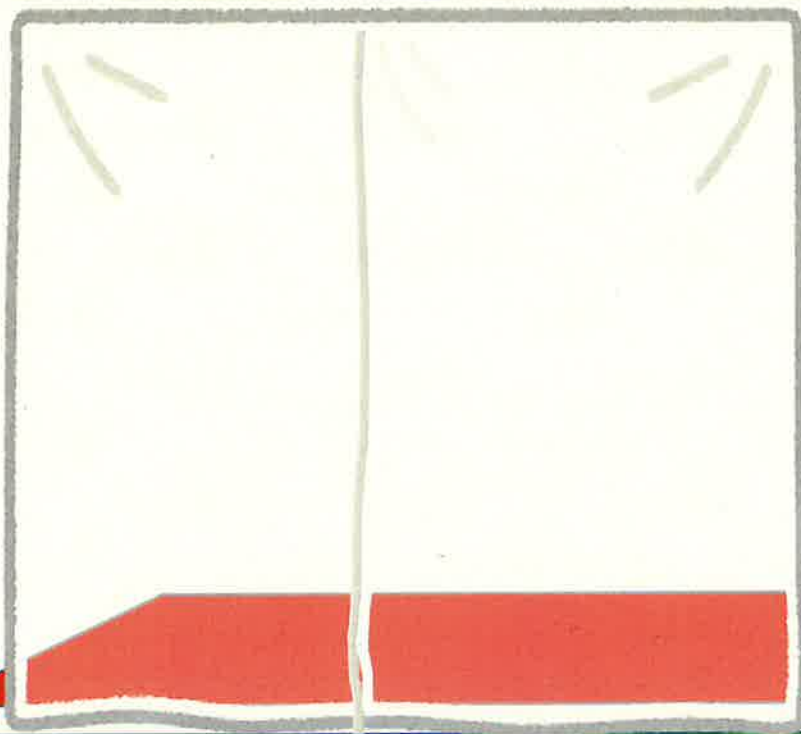
- レッドゾーン** フルPPEで過ごす場所
- イエローゾーン** PPEを脱ぐための場所(レッドゾーンの一部)
※脱衣方法は 感染対策資料2 参照
- グリーンゾーン** マスクで過ごす場所(休憩室、トイレ等)



重要!

イエローゾーンはレッドゾーンの一部 PPEを脱ぐための場所です

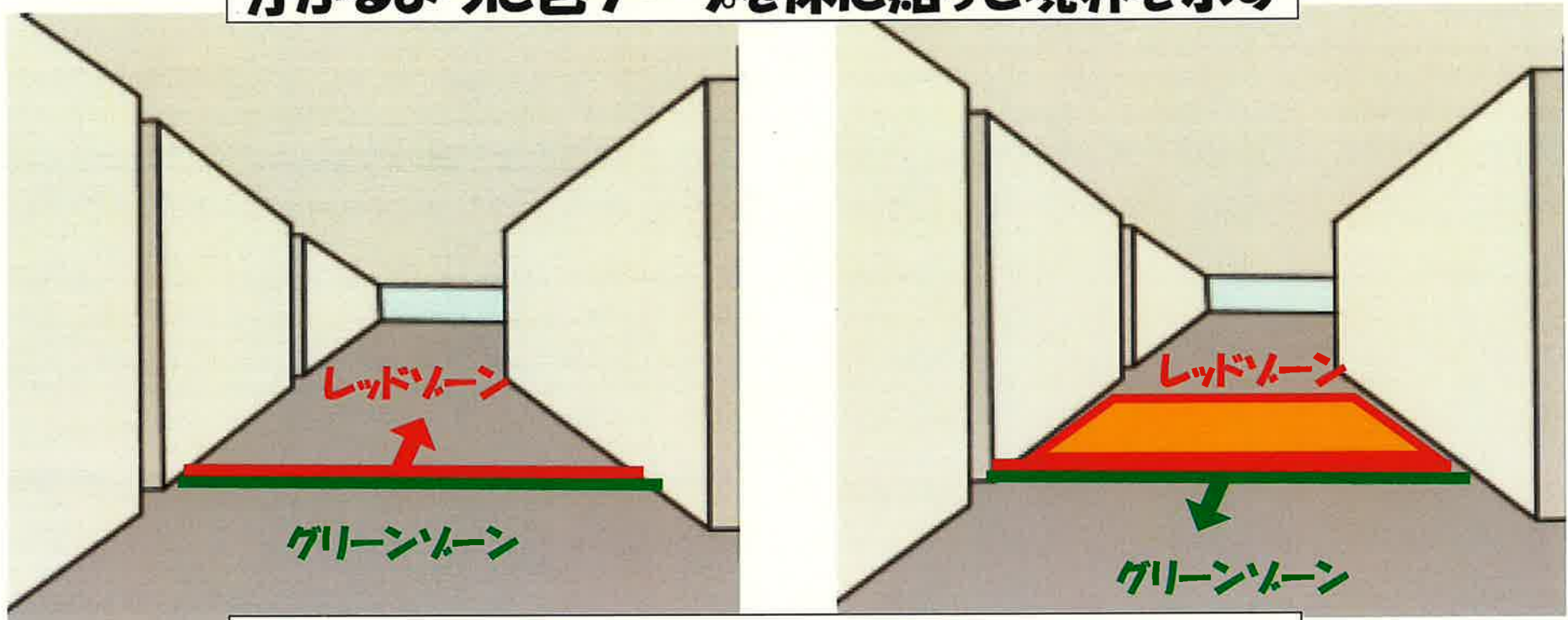
ビニールカーテンのゾーニングは しない方がよい



ビニールカーテンなどを出入口に吊して仕切りを作ると、かえって空気の流れを妨げることにもなるだけでなく、無意識のうちに触れていたいする。消毒の実施も困難です。

区分けは分かりやすく

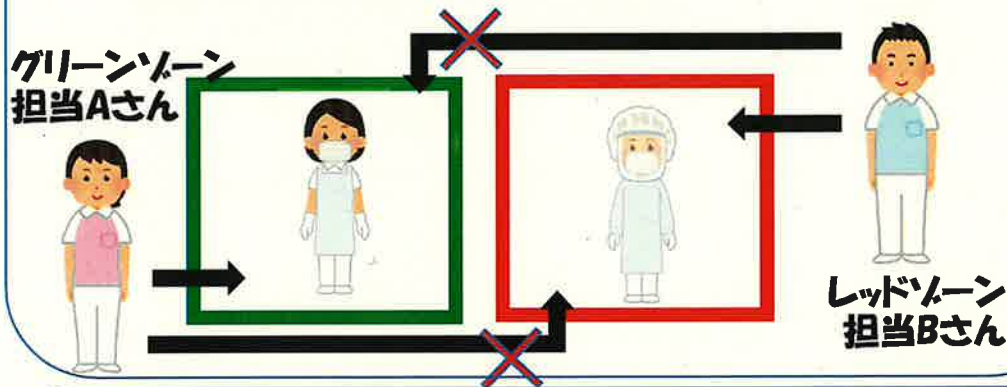
レッドゾーンとグリーンゾーンの区別を誰でも分かるように色テープを床に貼って境界を示す



床に矢印を示し、人の動きを一方向に固定

レッドゾーン担当する職員と グリーンゾーン担当の職員を分けて

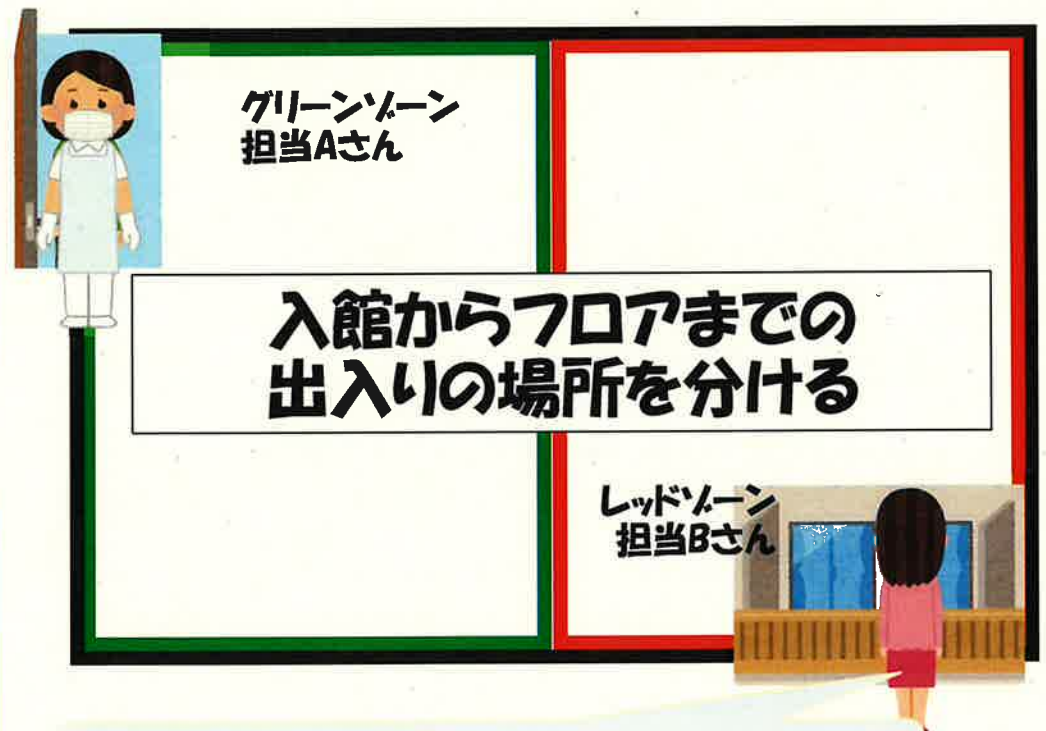
レッドゾーンとグリーンゾーンの 担当職員を分ける



職員の休憩室、更衣室を分ける



グリーンゾーン担当者
とレッドゾーン担当者の
部屋を分ける！



出入口に外階段やベランダ等も検討する

レッドゾーンに入る時



- ・おむつ交換
- ・シーツ交換
- ・清拭
- ・陰部洗浄
- ・体位交換
- ・食事介助

図の防護 ・ 器具の洗浄、消毒時

サージカルマスク、フェイスシールド、
手袋、ガウン（袖あり）、キャップ

N95マスクが必要な時

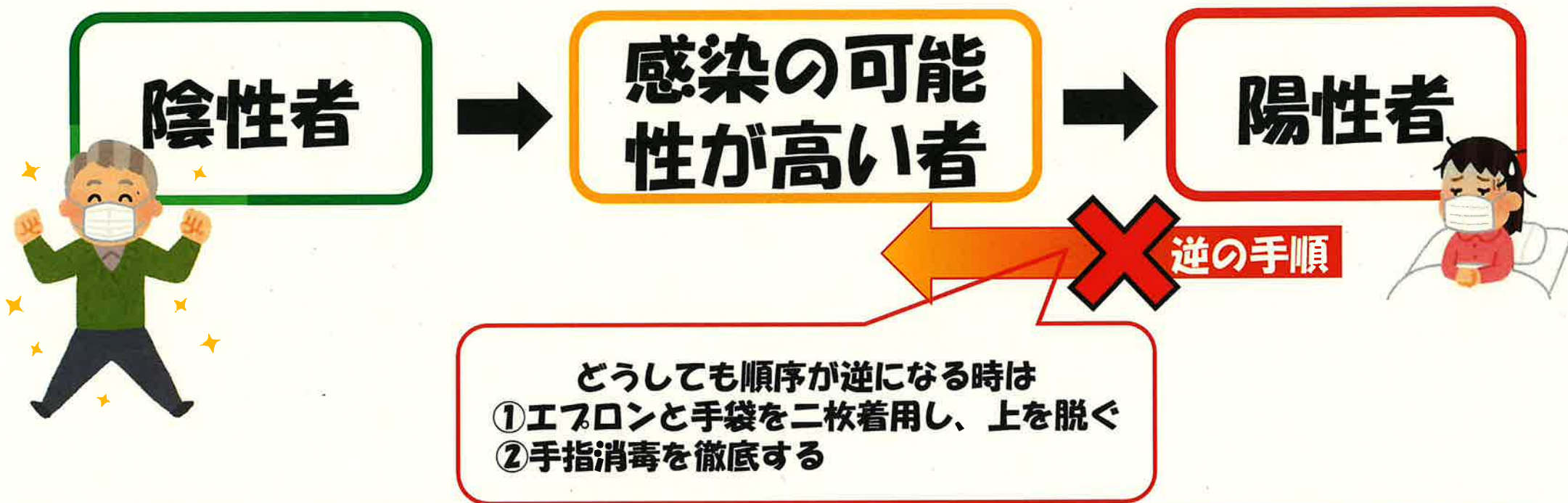


- ・ 口腔ケア
 - ・ 喀痰吸引
 - ・ 食事介助
- (咳込む可能性に備える時)

図の防護

N95マスク、フェイスシールド、
手袋、ガウン（袖あり）、キャップ

ケアの順序



入居者の状況を分かりやすくする入口の目印があると良いです